

リチウムイオン電池火災に注意

衝撃を与えない

外部から衝撃が加わり、へこむなどすると電池の内部でショートして発煙や発火することがあります。

落としたり、ポケットに入れたまま転んだ衝撃で発火する事故が発生しています。

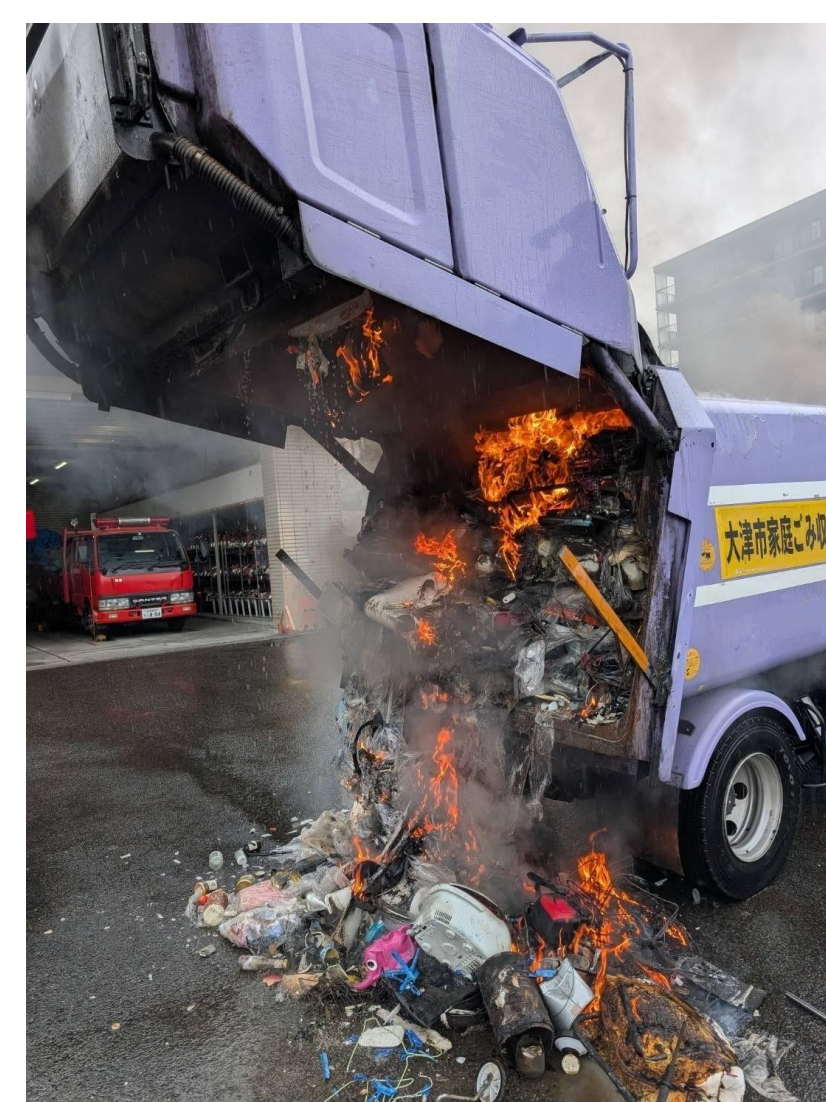


「出典：製品評価技術基盤機構（NITE）」

一般ごみと一緒に捨てない

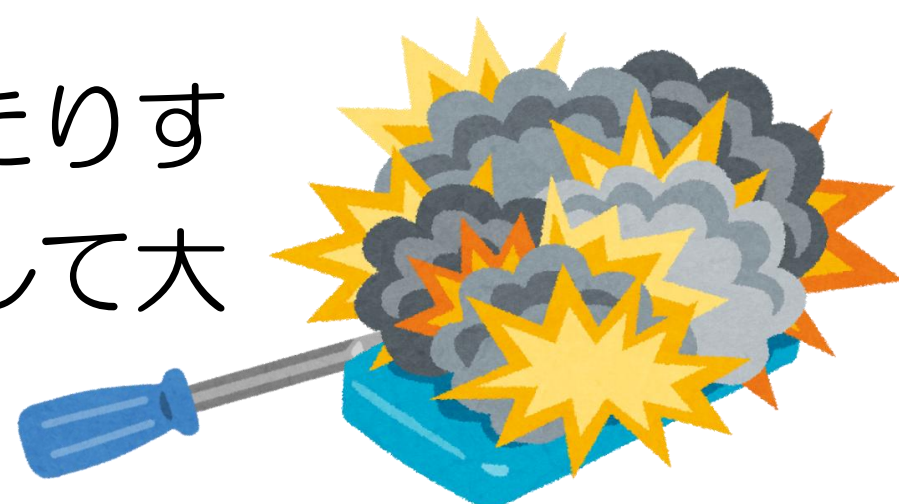
ごみを細かくする機械（破砕機）やごみ収集車で圧迫されて火災になることがあります。

設備や車両が破損して大きな被害がでたり、ごみの処理ができなくなったりします。



リチウムイオン電池を使う製品の中には、電池部分を取り外せない構造になっているものがあります。

無理にこじ開けたりすると傷がついたりして大変危険です。



分解や改造しない

こんな時は危険です

- 膨らんでいる
- 変形している
- 充電時にいつもより熱い
- 充電できない
- 急に電源が落ちる
- リコール情報がある

きけん

異常があったら使わない

発煙したり、
発火したら・・・



水没させる



119番通報する